

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%  
保護者様： 24名回答、回答率 89%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・教室が2階にあるため、階段を昇降する際は必ず指導員がつき、安全管理を行っている。
- ・利用者が自分の役割や1日の予定が分かりやすいように、ボードに文字やイラストで掲示を行っている。
- ・クールダウンが必要な場合、相談室で過ごせるようになっている。
- ・人員体制について、法令上の人員基準は満たしているが、送迎の時間帯に教室内の人員が少なくなる場面がある。事前に職員の業務分担を決めて業務効率化することにより、安全面を担保している。

### ○業務改善

- ・計画的に研修を実施し、常勤・非常勤間でも情報を共有している。
- ・送迎等で保護者からお話があった場合は、教室内ミーティングで共有し、支援に活かしている。

### ○適切な支援の提供

- ・活動プログラムについて、年間目標とそれに伴う月間目標を立案している。
- ・5領域をバランスよく設定し、プログラムが固定化しないよう工夫している。
- ・利用者の意見も尊重し、活動プログラムについて、利用者とも話し合いをしている。また、利用者の特性に合わせ、小グループの活動プログラムも取り入れている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・新規利用の利用者には、保護者から情報をいただき、見学に来たケースワーカーに細かく最近の様子などを情報共有し連携している。
- ・既存の利用者には、送迎時対面にて、利用者の当日の様子や学校、自宅等の様子をお話している。移動支援や自己入退室の利用者・保護者には、電話やメールでお話しをしている。

### ○保護者への説明責任等

- ・毎月ニュースレターにて活動予定を共有している。
- ・定期的に療育参観を開催し、利用者の様子を見ていただいたり、保護者交流、相談の場として懇談会を実施したりしている。保護者参観を行う際、事前にアンケートを取り、日程やニーズを確認し、保護者に寄り添う形で実施することができた。

### ○非常時等の対応

- ・月に一度、避難訓練を実施し、緊急時の動きを確認することができている。教室内で非常時対応の研修を実施し、職員間で対応内容を確認できた。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・環境面や体制について、約9割の方から満足していると回答いただいた。人員体制について、送迎の時間帯に教室にいる職員数が少なくなる場面があるため、事前に個別課題など準備をし、業務の効率化を図り安全管理の対応を行っている。

## ○適切な支援の提供

・全員から「活動プログラムが固定されないように工夫されている」と回答をいただいた。9割以上の方から「子どものことを十分に理解し、ニーズ特性に応じた支援を受けられている」と回答をいただいた。また、「子どもが楽しめるように工夫している」「季節感も取り入れてくれている」「個別や活動で色々工夫している」と思い、感謝している」との意見をいただけたため、引き続き支援内容を工夫をし、利用者が楽しんで活動に参加できるようにしていく。

・5割の方から「地域の他の子どもと活動する機会」について「分からない」と回答をいただいた。地域との関わりについて、学童や習い事に通っている利用者も多いため、「放課後等デイサービスでは地域との関りを求めている」というご意見もいただいた。地域交流については、ニーズを確認し適宜行っていく必要がある。

## ○保護者への説明等

・「連絡ノートや送迎時に日々の状況を伝えてくれている」「毎月の活動予定表を楽しみにしている」「連絡帳でなくアプリが良い」「写真がもう少し見られたら嬉しい」とのご意見をいただいた。毎月のニュースレターで活動の様子を共有しているが、今後はさらにブログや保護者会等で教室の様子をお見せする機会を増やしていく必要がある。

## ○非常時等の対応

・9割以上の方から「各種マニュアルの周知・説明をされている・必要な訓練が行われている」と回答をいただいた。非常時対応について、すべての方に周知ができるよう、保護者会や面談時に周知を継続していく。

## ○満足度

・9割以上の方から「子どもが安心感を持って通っている、楽しみに通っている」というご意見をいただいた。また「先生やお友達と楽しい時間を過ごせている」「苦手だと思っていた事もできるようになり、びっくりしてとても感謝している」とのご意見をいただいた。今後も安心して過ごせる環境や療育ができるよう努めていく。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

・スタッフや利用者の動線を教室内で検討し、スケジュールを組み立てて、ロッカーの場所や玩具等の場所の見直しを行う。

・祝日、土曜、学校休校日に公共の施設やお店に行くことを増やして地域交流を図っていく。

・小集団など年齢に合わせて活動を行うことで、年齢に合わせた活動を増やしていく。

・緊急時の対応について改めてすべてのご家庭に書面等で提示する。

・療育参観の機会を前期後期各1回は設定する。

## ○改善できた点・まだ残る課題

・教室内の動線について、一部配置転換ができたが、ロッカーや玩具等の配置について、まだ改良の余地があるため、引き続き対応していく。

・祝日や学校休校日に公共施設へ行く回数は増えたが、地域交流をする機会は少なかった。引き続き、地域交流の方法を検討していきたい。

・専門的支援実施を通して年齢や課題に沿った活動を増やすことができた。

・緊急時の対応について、保護者会や面談で説明を行い、理解力は高まったが、すべての方の理解には至らなかった。引き続き、周知方法を検討し、確実に理解に繋がるように対応する。

・療育参観は前後期1回ずつ実施することができた。

# アンケート結果からみる教室の強み・改善点

## ○教室の強み

- ・活動プログラムが固定しないようにプログラムを考え、特性に応じた課題設定や支援ができた。
- ・利用者が毎回楽しみに利用してくれていた。保護者も安心して利用してくれていた。
- ・保護者からの相談の機会が多く、保護者支援を多く実施できた。
- ・保護者や利用者と共に相談をして、療育参観や保護者会を実施することができた。

## ○改善点

- ・教室内の動線について改善が必要である。
- ・地域交流が少ないため、地域資源を活用したり、地域イベントに参加したりすることで、交流の機会を増やしていく必要がある。
- ・緊急時の対応について、すべての利用者保護者が理解できるように、周知をしていく必要がある。
- ・保護者や外部の方に教室内の活動の様子を知ってもらう機会を増やす必要がある。

# 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

## ○中長期的な改善計画

- ・教室内の配置転換を行い、利用者が過ごしやすい動線を作る。
- ・地域の資源を活用し、課外活動を立案、実施していく。
- ・緊急時対応について、すべての利用者保護者に理解していただけるよう、周知していく。
- ・保護者や外部の方に教室内の活動の様子を発信していく。

## ○1年間で取り組む具体策

- ・教室ミーティングを実施し、1日の流れに合わせて、教室内の備品がどこに設置されているとよいか検討する。期日を定めて備品の移動、環境整備を行う。
- ・地域資源の調査を行い、土曜日や学校休校日に課外活動にいけるようスケジュールを立てる。事前に地域の方とも連携し、利用者が地域の方と関われる機会を増やしていく。
- ・緊急時対応について、すべてのご家庭に書面で内容の周知を行う。また、保護者会や療育参観で内容の周知や質疑応答を行い、理解度を深めていく。
- ・日常の活動内容や作品の掲示を増やし、療育参観・面談・保護者送迎時等に、教室内の取り組みについて知っていただく機会を増やしていく。